

カナダ・バンクーバー冬季オリンピック
日本における経済波及効果は約75億円

大学院会計研究科 宮本勝浩教授らが推定

このたび関西大学会計専門職大学院の宮本勝浩教授らが、2月12日からカナダで開催するバンクーバー冬季オリンピックの日本における経済波及効果について推定しました。

計算の結果、経済波及効果は約75億円にとどまり、実施国に比べ経済波及効果は限定的であることがうかがえる数字となりました。

分析結果について、次ページ以降にて詳しく紹介いたします。

記

- 1 テーマ 「バンクーバーオリンピックの日本における経済波及効果」
- 2 発表者 関西大学大学院会計研究科 教授 宮本 勝浩
大阪府立大学 経済学部客員研究員 郭 進
大阪府立大学 大学院経済学研究科博士後期課程 王 秀芳
- 3 発表日 2010年2月8日(月)
- 4 内 容
 - (1) はじめに
 - (2) 直接効果
 - 交通費
 - 渡航前と渡航後の消費額
 - 記念品やグッズの売上げ金額
 - テレビの売上げ金額
 - 直接効果の総計
 - (3) 経済波及効果
 - (4) 結論

以 上

- 1 分析結果からデータなどを引用される場合は、その旨を付記してください。
- 2 この分析結果は、2月9日付スポーツ報知紙に掲載されました。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 広報室広報課 担当: 北谷、木村

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0075 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

氏名 宮本 勝浩(みやもと・かつひろ)
生年月日 昭和20年1月12日(65歳)
本籍 和歌山県
現職 関西大学 大学院会計研究科 教授
学歴 大阪大学 大学院経済学研究科修士課程修了
経済学博士(神戸大学)
職歴 大阪府立大学経済学部教授、経済学部長、副学長歴任後、平成18年4月より現職
この間 アメリカ合衆国インディアナ大学、ハーバード大学、上海同济大学、南京理工大学、ロシア極東国立商科大学などの客員研究員や客員教授を歴任
専門分野 国際経済学(移行経済論)、理論経済学、関西経済論
著書 「大阪経済学」共著、経営書院、「移行経済の理論」中央経済社など

公職

財務省財政制度等審議会臨時委員
総務省情報通信行政・郵政行政審議会委員
大阪府水道部経営・事業評価委員会委員長
大阪府市町村合併推進審議会会長
堺市人事委員会委員長
公益信託泉州地域振興基金運営委員会委員長
財団法人堺都市政策研究所理事長
など

業績

- 2003年 「阪神優勝の経済効果」を発表
- 2004年 「球界再編の経済効果」、「プロ野球のストのマイナス経済効果」、「東北楽天の宮城県における経済効果」などを発表
- 2005年 「阪神優勝の経済効果」、「セパ交流戦の経済効果」などを発表
- 2006年 「清原、中村選手のオリックス入団の経済効果」、「2008年大阪サミット誘致の経済効果」、「ディープインパクトの経済効果」などを発表
- 2007年 「世界陸上競技選手権大阪大会の経済効果」、「シャープの堺市への液晶工場進出の経済効果」を発表
- 2008年 「東国原英夫宮崎県知事就任以後の宮崎県と東国原知事の経済効果」を発表
「くいだおれ人形の経済波及効果」を発表
「白毛馬ユキちゃんの経済波及効果」を発表
「くいだおれ太郎の経済波及効果」を発表
「阪神タイガース優勝に伴う経済波及効果」を発表
「三毛猫『たま駅長』の経済波及効果」を発表
「ゴルフ・石川遼選手の経済波及効果」を発表
- 2009年 「WBCの経済波及効果」を発表
「09食博覧会・大阪の経済波及効果」を発表
「ガンバ大阪の経済波及効果」を発表
「阪神タイガース逆転優勝の経済波及効果：2009年」を発表
「タバコ値上げの経済効果」を発表
「奈良県桜井市の邪馬台国遺跡発見の経済波及効果」を発表
「ゴルフ・石川遼選手の経済波及効果」を発表